

# 農作業安全運動月間

11.1 ~ 11.30

- ♣ トラクターの無暴な運転はやめよう。
- ♣ トレーラーは、ブレーキに注意し、スピードの出すぎに気を付けよう。
- ♣ 間違った農薬の使い方は、百害あるだけです。
- ♣ 電気の正しい知識を身につけよう。
- ♣ 疲れを残さないよう、充分休養しよう。

■ 農作業安全運動推進中央本部

■ 熊本県農作業安全運動推進本部



## 猿も木から 落ちる

前川 藤造

初秋の朝、私は三角島原間の九州商船緑川丸のブリッジに立っている。

船は港を出て大瀬戸を過ぎ波静かな有明のブルーバックの海面に巾広い航跡を残して島原に向っている。県会を終えてほっとした解放感はなく有難いものである。永い宮仕えの生活の中でこの感じは何時になっても同じでよいものである。空は蒼く気は澄み、陽光はさんと降り注ぎ風またなごやかで全く爽快な秋の朝であり、健康な秋の旅である。元気で生きていることがひとしを身に泌みて有難く感ずるのである。

航跡を見詰めていると巧まずしていろいろと回想が浮ぶ。五高時代この海に遠漕をよくやり或時は時化に遭い九死に一生を得て島原へふきつけられたこともある。また昔の連絡船は百少足らずの蒸気船で物悲しい気笛を鳴らして港を出ていったものだが、今は国際観光ルートの一部で船もデラックスなディーゼルエンジンで全く快適な船旅を楽しませてくれる。

さて昨年の今頃は同じ日に県会が終り、間もなく病に倒れて入院生活で年を越え約四カ月の後に軽快退院した。私はそれまで五十年余、病氣らしい病氣を知らない。自分の健康というものに異常な程の自信をもち、また自惚れも手伝って他人の病弱を軽べつし医者であることがわざわざわいしてか常に自分の健康を計測しながら年令も省りみず体へ酷使する傾向があった。

一昨年赴任直後長期の外因性の睡眠障害のために疲労累積し急性の心臓障害を起こし約一カ月間の休養を余儀なくされた。既にその時体年令的なひびがはい

っていた筈だから注意をし、体をいたわるべきであったのに、性来の癖が出て、相変らずこの限界までは大丈夫だと自己の健康を計測しながら或時は不節制までして無理を重ね、限界を飛び越えて遂に入院生活となったのが昨年の秋である。

私は職業柄、病気の予防を説き、未然に罹病を防ぐことにはエキスパートである筈である。それが現今国民の最大死亡原因の一つである成人病の一つである心臓病で倒れるとは、猿が木から落ちた様なもので全くナンセンスである。日常説法している衛生教育は口頭禅にだし去ったのである。

入院当時非常な自責の念におそわれて進退まで考えたことがある。しかし世の中のことをかえりみる時、余りにもこの種の猿が多くいて、その猿が猿らしくなく木から落ちる事例の多いのに驚き入る次第である。夫々の道の専門家でありながら、余りにも自信過剰でしかもその専門とすることで道をあやまり、失敗をし、深みに落こみ一生を台なしにしている人の多いことは心すべきことと思う。自分では慎重で、周倒で間違いないと自信しながら木から落ちるのである。小唄の文句ではないが心得ていながら滑る雪の道である。ひとり健康のことに限らず人生万事にこのことは大切なことである。私は自分をいとしんで、この頃やっと健康であることの喜びを味っている。

気笛音に気がつくると船は一時間の航程を終えてエンジン止め島原岸壁に接岸しようとしている。

(県衛生部長)